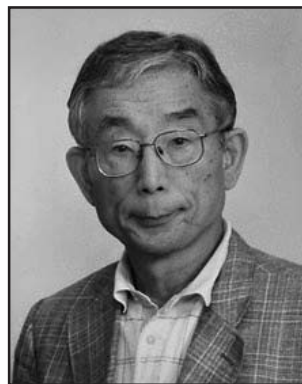

名誉会員

宮脇長人先生

ご逝去にあたり



去る 2021 年 7 月 3 日、日本食品工学会の名誉会員で元会長の、石川県立大学名誉教授宮脇長人先生がご逝去されました。ここに、ご生前の長年にわたる本学会への多大なる貢献に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2021 年 8 月 30 日

一般社団法人 日本食品工学会
会長 井村直人

弔辞

去る 2021 年 7 月 3 日、本会元会長、石川県立大学名誉教授の宮脇長人先生が、享年 75 歳でご逝去されました。先生は、昨年末に体調を崩され、入院加療を続けておられたとのことですが、病床に臥されていることは存じ上げず、社会の情勢が好転すれば、またお会いする機会がくると楽しみにしておりましたので、悲報に接したときはたいへん驚きました。また、現今の状況から最後のお別れができませんでしたことは残念でなりません。先生には日本食品工学会の前身である食品工学（特別）研究会の頃から約 40 年にわたりご厚誼を賜ってまいりました。謹んで弔辞を捧げます。

宮脇長人先生は東京大学工学部および同大学院工学研究科をご卒業されたのち、同大学農学部農芸化学科に奉職されました。爾来、多くのご業績をあげてこられました。なかでも、水は食品中の最大の成分であり、食品加工においてきわめて重要な存在であることと、当時大きく進展しつつあった冷凍技術が経験則に基づく面が多かったことより、食品中の水の凍結挙動に着目され、「食品低温工学」の分野を大きく発展されました。

宮脇長人先生は、本会の前身である食品工学（特別）研究会の頃から我が国における食品工学研究の進展に深く関わってこられました。同研究会が独立した日本食品工学会に移行する際には、その中心的なメンバーの一人として参画されました。本会設立後は、理事、副会長および会長として、本会の発展に大きく貢献されました。さらに、監事として本会の活動にご意見を賜りました。本会の活動の特徴の一つに、産業界の会員が中心となって情報交換等を行うインダストリー委員会があります。宮脇長人先生はアカデミアにご所属でしたが、食品工学の特性からインダストリーとの交流の大切さを力説され、同委員会の活動に長く関わ

てこられました。また、海外の食品工学研究者とのパイプ役も務められ、本会の国際化に大きく貢献されました。

本会は、設立 5 周年、10 周年および 20 周年の節目に記念事業の一環として、書籍を編集・刊行しました。宮脇長人先生はこれらの書籍の刊行に深く関わっていただきました。5 周年事業で刊行した「食品工学ハンドブック」（朝倉書店）の編集では、実質的な責任者を務められました。同書の編集は学会設立 2 年目から始まりました。同書の構成は設立間もない学会が対象とし、今後の進展を期する分野を決めるといっても過言ではありません。刊行から 15 年以上が経ったいまでも有用な同書は、先生のお先見の証と存じます。10 周年事業で刊行した教科書「食品工学」（朝倉書店）では、初学者にとってきわめて大切な項目などをご執筆いただきました。さらに、20 周年記念事業で刊行した「食品製造に役立つ食品工学事典」（恒星社厚生閣）では、幹事委員として同書の構成にお知恵をいただき、3 つの分野を取りまとめていただきました。同書の書名は宮脇長人先生のご発案によるものです。先生の食品工学に対する想いが込められた書名と存じます。

宮脇長人先生は、石川県立大学をご退職後も、精力的に研究活動を続けられ、学会発表、原著論文や解説記事のご執筆を続けておられました。また、日本食品工学会の活動にもご協力をいただいております。今後とも、高所からご助言をいただけるものと思っておりますので、誠に残念でなりません。

宮脇長人先生、長きにわたり、ありがとうございます。こころよりご冥福をお祈り申し上げます。

2021 年 8 月 30 日

一般社団法人 日本食品工学会
元会長 安達修二

ご 略 歴

- 1974年 東京大学大学院工学系研究科化学工学博士課程修了（工学博士）
1974年 東京大学農学部農芸化学科助手
1982～1984年 米国ピッツバーグ州立大学薬学部（Visiting Assistant Professor）
1988年 東京大学農学部農芸化学科助教授
1996年 東京大学大学院農学生命科学研究科助教授
2005年 石川県立大学生物資源環境学部教授（名誉教授）
2016～2019年 東京海洋大学食品生物科学部門産学連携研究員
2019年 水科学技術研究工房主宰
- 2006～2007年 日本食品工学会会長
2007～2008年 低温生物工学会会長
2006～2014年 IAEF（International Association on Engineering and Food）日本代表

日本食品工学会学会賞 2005年7月 「食品の低温加工操作に関する工学的研究」
低温生物工学会学会賞 2015年5月 「水の物理化学を基礎とした低温生物工学的研究」
Lifetime Achievement Awards, IAEF 2019年9月
他多数